

土浦市の 生活支援体制整備事業 活動紹介

～ 一中地区 子育て世帯を応援する会 ～



土浦市 イメージキャラクター つちまる

土浦市社会福祉協議会
中央支部
森川 真奈美

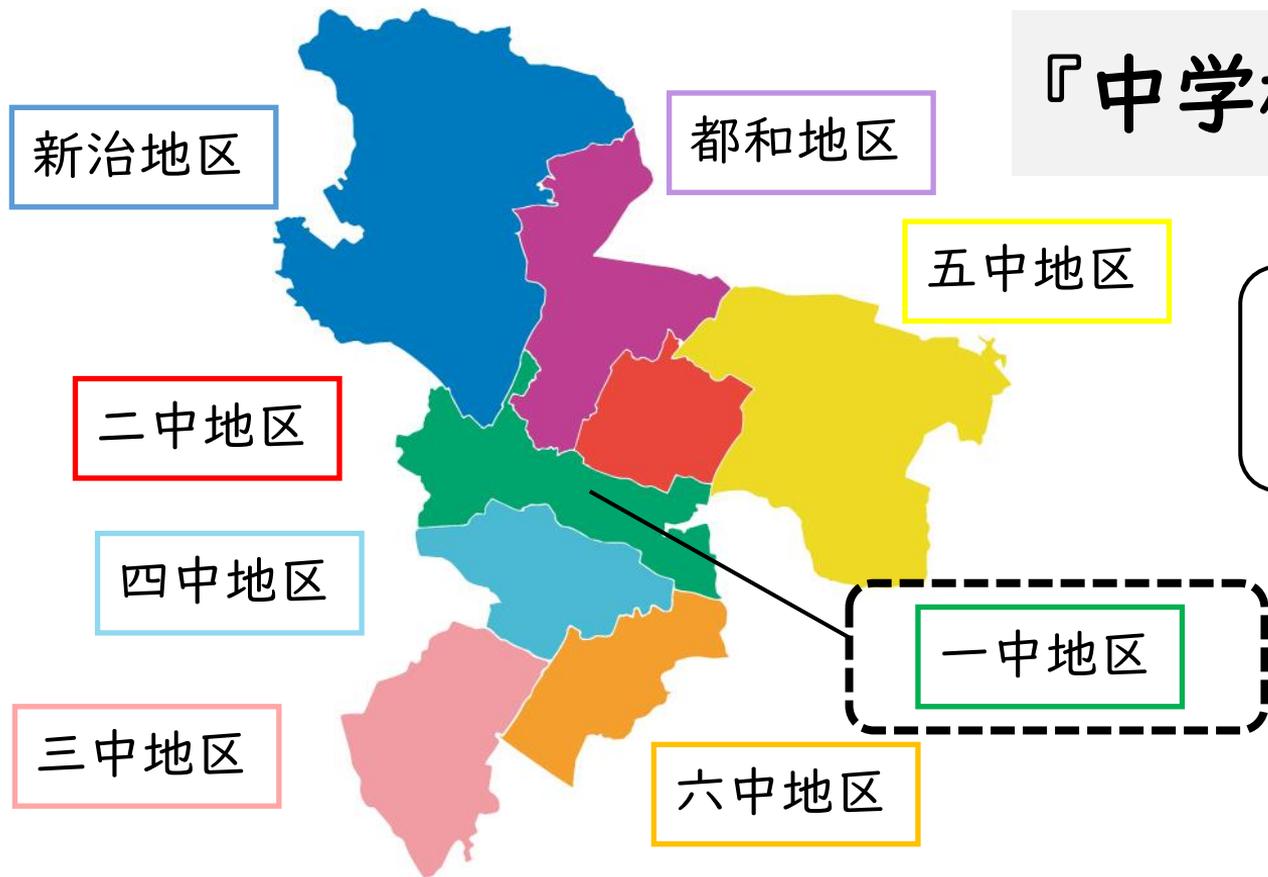


土浦市イメージキャラクター つちまる

第二層協議体の話し合いから、
実際の活動に発展した地区が
ありますので、SCのみなさんの
参考になればと、資料を作成
しました♪
ぜひ、ご覧になってください☆



土浦市の日常生活圏域



『中学校区』が圏域

本資料では、一中地区の取り組みを紹介します♪



土浦市の現状

土浦市（一中地区）の人口・高齢化率



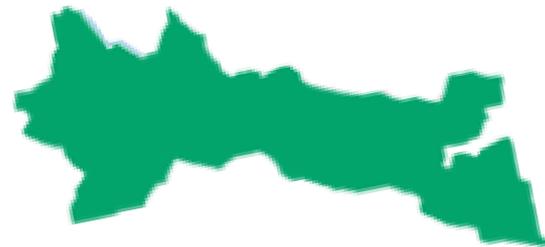
	人口	65歳以上	高齢化率
市全体	140,979人	41,457人	29.4%
一中地区	19,796人	5,941人	30.0%



一中地区は土浦駅や市役所がある地域です



一中地区の地域性



市域の中央部に位置し、桜川に沿って東西に連なる横長い地形。JR土浦駅西側の市街地は、本市発祥の地として長い歴史を有し、商業・業務の中心を形成しています。長い歴史を伝統に培われ、商業やサービス業の集積度が高く、本市の発展を牽引してきた地域です。

※第4次土浦市地域福祉活動計画より一部抜粋 5



土浦市の実施体制

第一層・第二層は社協へ業務委託



土浦市では、『ふれあいネットワーク』という独自の体制があり、**社協職員が地区公民館に1名配置**されています。

身近な相談窓口として、配置されている職員は、地域の方の『**相談支援**』と『**地域作り**』を中心に活動しています。

生活支援体制整備事業は、市から社協に業務委託され、**各地区公民館の社協職員は二層SCに委嘱**されています。



地域の活性化のために

令和4年4月 着任

まずは地域を知る
ことから始めます♪



令和4年4月に、地域包括支援センターうららから、
社会福祉協議会 中央支部（一中地区）に異動となりました。

地域包括支援センターでは、主に『相談支援』で高齢者支援
をしていましたので、『地域作り』は初めての業務です。

地域の実情を知ることや地域作りを活性化するためには
どうすればいいか考えました。

私の取り組み・工夫



訪問や外出は自転車を活用
自分の目で地域の実情を確認しました

夏休みには、大汗をかきながら
亀城公園で遊ぶこどもたちの姿が💧



社会福祉協議会で地区懇談会を実施し、
地区の問題や課題が見えてきました。



一中地区の課題と意見

安心した子育てができる地域にして欲しい

- 子育て世代と高齢者など、多世代間の交流が必要
- 町内でしっかりと話し合いの場を持つことが重要
- 若い世代の人にしっかりと意見を聞くことや交流の機会を持つことも重要



※第4次土浦市地域福祉活動計画より一部抜粋

私の疑問



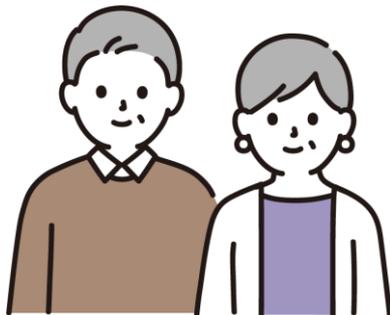
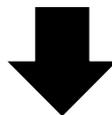
私が小学生の頃は、友達の家に行って遊んでいたな
共働きが多くなったし、今の子どもたちの居場所はどこなんだろう??

自分で地域を観察したことで、
地域について考えるきっかけに💡



第二層協議体の発足

民生委員さんに『**子どもへの支援をしたい**』
という想いをお話したところ、



それはいい取り組みだね♪
それならあの人も一緒に
やってくれそうだよ
みんなでやろうか💡

同じ目線で考えてくれる方々が集まり、
令和5年2月に、**第二層協議体が発足**しました!!

第二層協議体開始

令和5年2月 開始

メンバー { 地区長 2名
元民生委員 2名



月に1回程度、『子どもへの支援』をテーマに、メンバーと話し合いを重ねました。

メンバーからは、**二層SCに役割を求めることが多く、**

『**住民主体**』として進めるためのファシリテートは大変でした 

🐻 活動内容（子ども服おさがり市）

令和6年4月から

『子ども服おさがり市』を定期開催

頻度 → 月1回

場所 → 一中地区公民館

子ども食堂の開催に合わせ、おさがり市を実施



今では、おさがり市を目的に来る方もいらっしゃいます♪

🐻 活動内容（子ども服おさがり市）

子ども服おさがり市

きっかけ

メンバーから、『NPO法人が子どものおさがりの洋服を保有しているが、活用できていない』と情報があり、会で譲り受けました。



「一中地区公民館まつり」で、子ども服のおさがり会を試験的に実施したところ、予想よりも盛況でした☆
本取り組みは、**子育て世帯からの需要がある**と感じました。

活動内容（子ども服おさがり市）

子ども服の充実

『子ども服おさがり市』は、当初、NPO法人より、活用できていない洋服を頂き、出品していました。その後、社協だよりに本活動を掲載したところ、様々な方から「**子ども服の寄付をしたい**」と問合せがありました。



また、公民館まつりでの活動を見た地元小学校の校長先生から、「体操服を集める協力ができる」とお声を頂きました。小学校の廊下に、「体操服回収BOX」を設置し、**50枚以上**もの体操服が集まりました。

活動内容（子ども服おさがり市）

地域住民の協力による活動の継続



『あさがおサロン（17ページ参照）』の活動開始後は、参加している保護者からも寄付が届くようになり、**子ども服は非常に充実しています♪**

小学校や保護者を中心とした、**地域住民の方々のご協力**があり、『子ども服おさがり市』は、活動を継続できています。

地域住民が、『子ども服』という資源を活用することで、**地域の活性化に繋げることができた**と実感しています。

活動内容（あさがおサロン）

子どもの居場所作り



みんな
おいで～☆

第二層協議体のきっかけにもなった、
『**子どもの居場所作り**』についてもメンバーで話し合いました。



居場所が必要な期間として、長期休暇中を対象とし、試験的に令和6年7月～8月の夏休みに、公民館を使用し、小学生の受け入れをすることになりました。

名称は『**あさがおサロン**』と名づけました♪



活動内容(あさがおサロン)

あさがおサロン

春休み・夏休み・冬休みの長期休暇中の、子どもの集いの場

これまでの開催順

夏休み → 令和6年7月・8月(全12日)

冬休み → 令和6年12月(全1日)
(あさがおサロン de クリスマス会)

春休み → 令和7年3月・4月(全4日)

1年間で
全17日も
開催!!

活動内容（あさがおサロン）

受け入れにあたって



企画・運営 → 第二層協議体メンバー

受付・裏方準備 → 民生委員などの地域住民

子どもの対応・学習支援 → 市内の高校生・大学生

第二層協議体メンバーは企画・運営に徹し、実働的な動きは、地域の高齢者や学生に協力を頂き、受け入れを実施した。第二層協議体メンバーだけが動くのではなく、**地域全体で受け入れを実施することで、地域作りに繋がった。**

活動の様子

あさがおサロン(夏休み)



小学生・高校生・大学生・高齢者といった**多世代交流の場**に☆





運営側の所感

- 想定以上に子どもたちが集まり、需要の高さを感じた。
- お迎え時の保護者の表情から、息抜きできたことが伺え、子育て中の保護者のリフレッシュになった。
- 運営費がない中だったが、賛同してくれた方から、おやつやおもちゃなど、多くの寄付があり、子どもも喜んでいた。

第二層協議体メンバー・二層SCともに、想定を上回る結果となり、**あさがおサロンの意義・重要性を実感した。**

アンケート結果

アンケート結果

こども・保護者にアンケートを実施

こども

- 楽しかった
- また来たい



保護者

- 短い時間でも預けられるのは助かる
- この時間に買い物に行けました
- ほっと一息付けました



こども・保護者ともに**90%以上**から前向きなご意見を頂きました 22

活動の様子



あさがおサロン(冬休み)

あさがおサロン de クリスマス会

高校生が企画したゲームをみんなで楽しみました♪
(高校生にも会議に参加してもらい、企画しました)



活動の様子



あさがおサロン(春休み)

夏からのリピーターに加え、新規の子どもも参加頂きました。
学生ボランティアも夏からの参加者が多く、動きがスムーズでした。





課題や今後の展望

●メンバーの高齢化や体調不良のリスク

→ 高齢化により活動を維持できなくなる可能性がある。

●現在の活動の継続化

→ 新規メンバーを入れるなどの工夫が必要。

●二層SCの業務負担

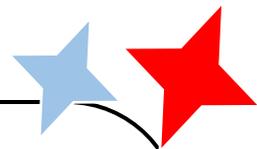
→ 住民からSCに役割を求める声が強い。

SCが異動しても住民主体で、質を維持した活動ができるように、役割を住民に移行する必要がある。

生活支援体制整備事業に携わって



この事業は、地域のみなさんと足並みを揃えることが非常に難しいと感じています。『住民主体』で活動することを、何度も繰り返し説明しても、難しいところです。やりたいことをどのように実現させるか、どうしたらいいかと一緒に考えていくことは難しくもあり、楽しいと感じています。



最後に



生活支援体制整備事業に携わる皆様は、住民との関わり方、第二層協議体を立ち上げ・継続していく重圧など、大変なことが多いと思います。この資料が、みなさんの活動の参考になれば幸いです♪
助け合いながら一緒にがんばりましょう!!